

※ 今週のアウトルック (8/3~8/7)

先週は売り買いが交錯し、どちらへも大きく動きづらい週となりました。市場の注目は、マクロ指標などの日常的なものに戻ってきているようですが、期待されているほどの回復力はなく、リスクオンを進めるには至っていないようです。

今週は、米国雇用統計がまず注目されるころだと思いますが、結果が予想外に悪かった場合には、再びリスクオフトレンドに逆戻りする可能性もあるように思います。

先週ドル円は全般的にはもみ合いの中、木曜日には124.5円以上を回復する場面もありましたが、週末には123円台で終了となっています。

今週は米国雇用統計を睨んだ展開となりそうですが、このところのマクロ指標は良いも悪いものがまちまちで、結果を待ってから動き出す可能性も高そうです。

結果の次第では、大きく動き出す可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは122円から125.5円です。

先週ユーロは、買い戻しも一段落して、レンジ的な動きとなっています。ユーロドルが1.1以上を、安定してキープできる状況にはまだ至っていない為、当面は先が読みづらい状況が続くかもしれません。

もし、1.08を割り込んでしまうようなことがあった場合には、大幅な下落を覚悟する必要が出てくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは133円から138円です。

ポンド円は、194円を超えられずに瀬戸際の状況が続いています。今週も194円をクリアすることができない場合には、一旦下落する可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは188円から196円です。

今週は、米国雇用統計の結果に注目が集まりそうですが、中国株や原油が大きく下落した場合、一気に市場のムードが冷やされてしまう可能性も、考慮する必要があるように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。